

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				重要事項説明書にも基本理念である『あすなら10の基本ケア』を明記して掲げている	
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			会議、研修を年間計画化しており理念と当該サービスの理解を深める	
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			年間計画で育成を目的とした全体研修を法人全体で取り組み実施している。 サービス部門毎での研修も実施している 外部研修の受講や内部に講師を招いての研修も実施している	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
		4	管理者は、サービスの提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			勤務時間の相談調整及びサービス移動手段についての配慮と環境整備に努めるルート効率化も図っている	
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			毎月の部署会議で実践しており書面化もしている	
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている		○			利用者の特性に応じたサービスの運営に努め、またその為の人材配置を実践している	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		反映されていないなかった時期もあり、過去と本年度に頂戴した要望、指摘を提供等に反映させていくように努めている	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価			コメント	外部評価 コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有の環境のための整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できよう工夫されている	○			システム導入により サービスに必要な最低限の 情報閲覧が端末で可能である。 書面化での共有と更新を 実施している	
(5) 安全管理の徹底								
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等ため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○			防災訓練、安全運転講習会 ともに年2回で実施 防災マニュアルや 緊急時連絡網の作成あり 夜間訪問時の防犯対策には 課題が必要である	
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○			毎年の全体研修で 個人情報保護法を 学習している。 鍵付き書庫での 保管を実施している	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況		コメント			
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				初回アセスメントから始まり日常のアセスメントとモニタリング作成から情報共有を実施している	ここにテキストを入力
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			紙面上での共有化を実施しながら、その時間を確保に課題あり	
②	利用者等の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている			○		自立支援を基本に考え、出来る事の継続と困難な事の情報を得ながら計画作成を実施している。 共有の時間確保に課題あり	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○		コメント 自立支援を基本に考え、心身機能の維持回復と在宅生活の継続を目指した作成を実施している	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じて柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○		コメント 状況の変化に応じた随時対応が可能になる勤務体制で努めている	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○		コメント 看護師によるモニタリングを実施している	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない			
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供										
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○					介護・看護との役割分担により専門性と効率的なサービスを提供出来ている	
②	看護職によるサービスに関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○					モニタリング実施後に行う情報共有ではシステムと書面を導入している。また、月1回情報共有の時間確保が出来ている。	
(4)利用者等との情報及び意識の共有										
①	利用者等に該当するサービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスの「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスのあり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○				在宅生活の継続、心身機能の維持回復を理念と併せて、都度説明している。ある場合、趣旨とアセスメント説明を実施して情報提供を行う。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				計画作成時並びに変更時に随時説明を実施している。担当者会議の実施時にも説明している。	
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				日々の情報に加え、状況変化をシニアマネジャーへの報告と相談を実施している	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービスの提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				変化に応じて情報共有を実施している。また、共有からサービスの提供を共同で実施出来ている。担当者会議も状況変化に併せて提案と実施を行っている。	
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている	○				フォーマルサービスの提案が主として実行している。フォーマルサービスの活用も提案している。（サロン・学習会・自治会・老人会）	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	定期的なアセスメント目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				多職種の参加を促し状況変化と計画状況の再確認を行うと共に情報共有の場として活用している。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要な等、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な等、包括的なサポート（保険外サービス、インフォームドケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている (※任意評価項目)	○				必要に応じた保険外サービスの提案を実施している。ボランティア団体とインフォームドケアについて協議していく。	
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスの提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている (※任意評価項目)	○				多職種参加での退院カンファレンスを実施している。家屋調査も含めた情報共有を行っている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況	できている	ほぼできている	できていないことが多い		
②	多職種の役割分担に係る連携に必要な検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○				地域との信頼関係構築を目的として、自治会や青年クラブとの係りを持ち始めている。様々な協力を得て、地域対象の学習会を定期的に実施している。認知症サポーター養成講座を開催しており、連携を目的にサポーター体制の構築を目指し発信していく。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域向けの積極的な情報発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				法人HPでの閲覧が可能であり情報発信として用いている。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			自治会の協力を得て広報活動を行い、地域の方々に開催した学習会を定期的に開催している。連携が課題である。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		地域包括ケアシステム協議会に参加して構築に向けた内容を進められている。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている					特定限定した建物等へのサービス提供はなく、地域に根ざしたサービスを展開している。
③	暮らしてまちなりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題意識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※ <u>任意評価項目</u> ）		○			ボランティア団体によるイベントや共有を目的とした実施。並に開催を実施している。ネットワークを活用した移動店舗を導入している。だだ生活雑貨や食料品を運地内に移動してあり、地域の様々な方が利用できるサービスを展開している。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価			コメント	外部評価 コメント
				実施状況	できている	できていない		
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	できていないことが多い	できていない	○	介護度の軽減、維持に向けて取り組みている。計画目標の達成については個人差が生じているのが現状である。	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている			○	在宅生活を望まれる方々には、『自分で言葉を頂戴しているな』などの家族とケア軽減にも至っている	

Ⅲ 結果評価 (Outcome)